

松本ESテック株式会社 様

令和3年度 生産性向上支援訓練（オープンコース）

4月28日	事故をなくす安全衛生活動	6月24日	効果的なOJTを指導するための指導法
5月14日	ものづくりの仕事のしくみと生産性向上	7月16日	作業手順の作成によるノウハウの継承
5月21日	経験を活かした職場の安全確保（未然防止編）	8月20日	チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割
6月18日	生産現場の問題解決	12月1日	現場社員のための組織行動力向上

令和3年度 生産性向上支援訓練（オーダーコース）

6月9日	組織力強化のための管理	8月6日	品質管理基本
7月16日	職場のリーダーに求められる統率力の向上	8月23日	管理者のための問題解決力向上

1. 訓練を利用した経緯・動機をお聞かせください

我が社は電磁鋼帯の加工・加工製品を営業品目としています。電磁鋼帯に特化しているため、他の業界や他企業との交流が限定されてしまいます。そのため、社員にとってビジネス感覚が養われる職場環境とは言えませんでした。そこで、社員がビジネスワードに慣れ、経営視点に触れることで技術・品質の向上を図ることを目的に、生産性向上支援訓練を利用しました。生産性向上支援訓練を通して、社員には経済環境の変化を肌で感じ、最新の情報を知ってほしいと考えています。



松本ESテック株式会社

2. 訓練を利用した事業主様の声・・・

訓練を受講したことで、社員の意識や意欲に変化があったように感じます。中堅層の社員は、自分たちの短所や長所に気づくことが出来ました。その他、訓練受講によって、業務中にはできなかった自身の課題に向き合うことができたと考えます。若年層の社員は、訓練を通して手法や考え方が身に付き、それぞれの自信につながりました。これからも生産性向上支援訓練を継続することで、各自スキルアップすることが日常で当たり前になればと考えています。



常務取締役 営業部長 中村宏隆 様

3. 事業主様の今後の抱負をお聞かせください。

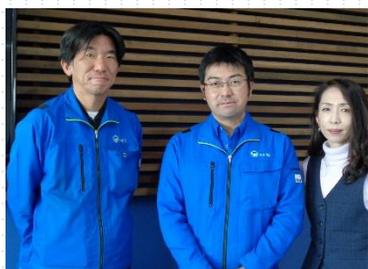
新型コロナウイルスの影響もあり、世の中は絶えず変化しています。我が社においても、これまでと違ったスタイルが現場に求められ変化に対応していかなければなりません。今後、社員には、未来を中心に考えられる人材になってほしいと考えます。そのため、生産性向上支援訓練を受講して得られた成果を発展させ、日々変わる状況について自ら考えて行動に移せる力を養ってほしい、私も、そのためのサポートを続けていきたいと考えています。

4. 訓練を利用した受講者様の声・・・

工場の業務は、各社員が作業に慣れ、効率良く行うことが大切です。弊社も個人中心で作業を進めているため、これまで業務を引継ぐ文化がありませんでした。しかし、人手不足が深刻化している昨今では、外部からの中途採用や職場のローテーションも必要となり、引継書の作成は必要だと感じていました。そんな折に、生産性向上支援訓練にて学習した「作業手順書の作成」が役立ちました。訓練で学んだ事を活かし、引継書を作成したことで、周囲の社員に引き継ぎの正しい手法を知らせ、根付かせるきっかけ作りが出来ました。

5. 受講者様の今後の抱負をお聞かせください。

今後の目標はシステムの一元管理です。各部署単独でIT化を推進しても、本質的な効率化につながらず、システム全体を統合化する必要性を感じています。社内システムを一本化することで、必要な情報を漏れなく管理することが可能になると考えています。そこで、生産性向上支援訓練の「DX関連コース」を活用しながら、弊社全体のシステムIT化を図っていきたくと考えています。



ご協力いただいた皆様

松本ESテック株式会社

創業：昭和22年3月

設立：昭和30年5月

本社（幕張工場）：千葉県千葉市花見川区幕張町2丁目7714番地

白井工場：千葉県白井市名内1番35号白井第2工業団地

白井第2工場：千葉県白井市名内1番1号白井第2工業団地

鶴岡工場：山形県鶴岡市宝田3丁目10番41号鶴岡東工業団地

関連会社：株式会社松本エクスプレス

